

使用指導のポイント

前頁の質問から使用可能な方には、次のことを必ず守ってエンペシド®Lを使用するように指導してください。

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) この薬は腔内にのみ使用し、飲まないでください。
もし、誤って飲んでしまった場合は、すぐに医師の診療を受けてください。
- (3) アプリケーターは使用しないでください。
- (4) 途中で症状が消失しても、使用開始から6日間使用してください。
- (5) 生理中は使用しないでください。使用中に生理になった場合は使用を中止してください。その場合は、治癒等の確認が必要であることから、医師の診療を受けてください。

次の場合は、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

(1) 使用后、次の症状の継続・増強又は発現がみられた場合

関係部位	症状
腔	局所の熱感、刺激感、かゆみ、発赤、痛み
皮膚	発疹

(本剤による副作用の可能性が考えられます)

(2) 3日間使用しても、症状の改善がみられないか、6日間使用しても症状が消失しない場合は医師の診療を受けてください。(他の疾病の可能性あります)

- 成分・分量：1錠中 クロトリマゾール 100mg
- 効能：腔カンジダの再発（過去に医師の診断・治療を受けた方に限る。）
- 用法・用量：成人（15歳以上60歳未満）1日1回（できれば就寝前）、1錠を腔深部に挿入する。
6日間毎日続けて使用すること。ただし、3日間使用しても症状の改善がみられないか、6日間使用しても症状が消失しない場合は医師の診療を受けること。

K1703学術NY®

腔カンジダの再発治療薬

エンペシド®L

適正使用のチェックシート

次のことを確認し、適切に指導してください。

次にひとつでも「はい」に該当する項目がある方には、本剤を販売せず、必ず医師の診療を受けるようご指導ください。

- Q1: 腔カンジダの診断・治療を過去に受けたことがない。 はい いいえ
- Q2: 本剤又は本剤の成分により、アレルギーを起こしたことがある。
(クロトリマゾールは、カンジダ治療薬の他、みずむし・たむし用薬にも含まれる成分です。) はい いいえ
- Q3: 15歳未満又は60歳以上。 はい いいえ
- Q4: 妊娠している。または、妊娠している可能性がある。 はい いいえ
- Q5: 次のいずれかの症状がある。 はい いいえ
- 発熱 悪寒 下腹部痛 背中や肩の痛み
 色のついた又は血に染まったおりもの 魚臭いおりもの
 生理の停止 腔からの不規則又は異常な出血
 腔や外陰部の潰瘍、浮腫、ただれ
- Q6: 糖尿病の診断を受けたことがある。 はい いいえ
- Q7: 頻繁に腔カンジダを繰り返している。
(1~2カ月に1回又は6カ月以内に2回以上) はい いいえ
- Q8: 腔カンジダの再発が分からない。 はい いいえ

上記にあてはまらない方

次に「はい」に該当する項目がある方には、適切にご指導ください。

- Q1: 医師の治療を受けている。 はい いいえ
- Q2: 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある。 はい いいえ
- Q3: 授乳中である。 はい いいえ

エンペシド®Lを使用できます。



®: ドイツ・バイエル社登録商標

(ご販売前に裏面の注意点をご説明ください)

使用上の注意と解説事項

「エンペシド®L」を使用いただく際の使用上の注意と解説事項です。
お客様には説明文書をよく読み、それを厳守した上で製品を使用いただくようご指導ください。

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

使用上の注意

解説事項

1.次の人は使用しないでください	
(1) 初めて発症したと思われる人。	これまで膣カンジダの診断・治療を受けたことがない人は、あらわれた症状が膣カンジダによるものかどうか自己判断が難しく、医師の診療を受ける必要があるため使用を禁止しました。
(3) 15歳未満又は60歳以上の人。	15歳未満の人は、初めて発症した可能性が高く、60歳以上の人は他の疾患の可能性や他の菌による複合感染のリスクが高まることを考慮する必要があり、医師の診療を受ける必要があるため使用を禁止しました。
(4) 妊婦又は妊娠していると思われる人。	妊娠中の使用は、医師が診察を行い、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用されるべきであるため、一般用医薬品としての使用を禁止しました。
(5) 発熱、悪寒、下腹部痛、背中や肩の痛み、色のついた又は血に染まったおりもの、魚臭いおりもの、生理の停止、膣からの不規則又は異常な出血、膣又は外陰部における潰瘍、浮腫又はただれがある人。	膣カンジダと類似症状をもつ他の疾病の症状を挙げました。このような症状がある場合は、膣カンジダ以外の疾病である可能性があるため使用を禁止しました。 ※このような症状がみられる場合は、直ちに医師の診療を受けるようお勧めください。
(6) 次の診断を受けた人。 糖尿病	糖尿病患者はカンジダ症を繰り返す可能性が高く、医療機関を受診して膣カンジダの治療を糖尿病の治療とともに行うことが望ましいことから設定しました。
(7) 本疾病を頻繁に繰り返している人。 (1~2か月に1回又は6か月以内に2回以上)	膣カンジダの再発を繰り返す人は、医師の診療が必要であることから、設定しました。
(8) 膣カンジダの再発かわからない人。	膣カンジダと自己判断できない場合は医師の診療を受ける必要があるため使用を禁止しました。
2.次の部位には使用しないでください	
(1) 膣内以外の部位。	本剤は膣内のカンジダ菌による感染のみに効果があるため設定しました。
3.本剤を使用中に次の医薬品を外陰部に使用しないでください	
(1) カンジダ治療薬以外の外用薬。	ステロイド含有外用薬は、膣カンジダを悪化させるおそれがあり、鎮痒剤や消炎剤等の外用薬を用いると、一時的に症状が隠蔽され、本剤の効果が正しく判断できなくなるおそれがあることから設定しました。

相談すること

使用上の注意

解説事項

(1) 医師の治療を受けている人。

医師の治療を受けている人は、医師から何らかの薬剤の投与又は処置を受けている可能性があり、さらに自己判断で他の薬剤

用法・用量に関する注意

使用上の注意

解説事項

保管及び取扱い上の注意

使用上の注意

解説事項